

メイトルのつばやき No.2



《 イスラエルの秋 》

皆さんこんにちは！八百津へ来てから、2ヶ月が経ちました。八百津へ到着した時は、猛暑日でしたが、今はとても涼しく、夜には微かな風を感じます。

2年前、私が初めて来日した時の季節は秋でした。名古屋に着いたばかりの私は、日本の秋の美しさに深い感銘を受けました。10月上旬の紅葉の季節、私は東山公園（名古屋市）を散歩しました。燃え上がるように真っ赤に染まった葉はとても素晴らしいものでした。その光景は今でも忘れられない貴重な思い出です。今年は、八百津の山々の美しい紅葉を見ることが出来ます。先日、八百津の紅葉した山々の写真を見ました。ぜひ、紅葉散策へ出掛けようと思いました。今からとても楽しみです。

イスラエルの秋は、日本のような“紅葉”がありません。しかし、イスラエルの秋もまた魅力的な季節です。今回はイスラエルの秋についてお話したいと思います。

日本と同じように、イスラエルにも四季があります。夏は、ほとんど雨が降りません。秋になると雨が降ります。ヘブライ語で、最初の雨の名前は「ヨレ」と呼ばれ、自然の恵みが訪れたとされています。イスラエルの秋は、“夏と冬をつなぐ季節”と呼ばれています。そして時に、集中豪雨にみまわれます。日本ではこのような雨のことがゲリラ豪雨と呼ばれていますが、イスラエルでは“クレイジー天気”と呼ばれています。イスラエルの国民は、毎日注意して天気予報を調べます。

そして、秋の到来を告げる花「スケイル」が咲きます。ミツバチたちがスケイルの周りを飛び交います。スケイルから取れる蜜は最高級の蜜として売られています。皆さんはセキレイという鳥をご存じですか？セキレイは、イスラエルの秋を象徴する鳥です。特にイスラ



エルの子どもたちは、セキレイが大好きです。イスラエルには、セキレイの歌があります。幼少の頃、セキレイの歌を歌ったことをよく覚えています。



そしてイスラエルの秋といえば、なんとと言っても渡り鳥の到来です。イスラエルは温暖な気候ですので、ヨーロッパやアジアから、多くの渡り鳥が中継地点としてイスラエルに立ち寄ります。秋の空に何種類もの渡り鳥が何千と飛んでいます。まるで絨緞のようで、それは感動的な光景です。渡り鳥の一つであるコウノトリ。コウノトリはアフリカ大陸へ向けての長旅の前に、イスラエルの北部で休息と栄養補給のため立ち寄ります。他には、ペリカン、鶴、鶉などが立ち寄ります。因みに、冬になると、ほとんどの渡り鳥はアフリカへ向けて旅立ちますが、セキレイだけは、イスラエルに



留まります。皆さんに是非イスラエルの秋を体験頂きたいです！

天気がよくて涼しい秋は旅行を楽しむのにぴったりの季節です。私はそんな秋がとても大好きです。友達や家族と一緒に日帰り旅行をすることは、素晴らしい経験だと思っています。イスラエルでは秋にユダヤ教の新年を迎えます。秋は一年の新たな始まりです。

10月と11月のイベントでまた皆さんにお会いできることを楽しみにしております。これから始まる新年は皆さんにとって、素敵な一年であるよう心から祈っています。